



36 大三島図 松岡映丘 昭和7年(1932) 紙本着色 本紙135.0×180.0

両殿下がお住まいになる高松宮邸は昭和6年12月に竣工、その謁見の間を飾るために、昭和天皇、香淳皇后より御贈進となった作品である。日本の風景を、という御下命を受けた松岡映丘(1881～1938)は、海軍大尉宣仁親王殿下にふさわしい画題として、古来より武門、特に水軍の鎮守として知られる大山祇神社が鎮座する、瀬戸内海の大三島を選び、現地での写生を経てこの絵を完成させた。壁画は、昭和48年に新築された高松宮邸にも移され、大食堂を飾るものとして使用され続けた。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝来の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十五年三月二十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections